

✦... ごみかんよりお知らせ ...✦✦✦✦✦✦✦✦✦✦

東京の桜が咲き始めました。このごみっと・SUNの発送の日には、いまが花盛りと咲き誇っていることでしょう。

日本中を染めて北上していく桜。沖縄から北海道までいらつしゃる、ごみかんの会員の皆さんに思いを馳せつつ、春爛漫の季節の到来です。

ごみっと・SUNは年6回、封筒の宛名を見ながら、全国各地の会員さんに届けと発送作業をしてきました。NPOごみかんの時代と合わせると、通算174回発行しました。ごみかん



の活動の中心となった市民ごみ大学セミナーや、交流集会（容器包装削減、生ごみリサイクル）は合計73回開催しました。3月11日の最後の運営委員会の終了後には、日経新聞から取材もあり、締めくくりにふさわしいひと時となりました。

ごみかんはこれで活動を終わりますが、ごみ問題はこれからも続いていきます。引き続き、よりよい循環型社会を将来世代に、と願ってやみません。(E)

ごみかん解散後の ホームページ閲覧や 連絡先について

- * ホームページでごみっと・SUNを全号公開しています。
- * ホームページは2029年3月末まで閲覧できます。2029年4月以降も、ごみっと・SUNの全号のPDF、及びホームページのコンテンツはGoogleドライブに保存したフォルダから見るすることができます。閲覧希望の方はURLをお知らせしますのでメールでご連絡ください。
- * メールアドレス (gomikan21@yahoo.co.jp) や、事務局の機能は当分残しておきますので、何かありましたらメールでご連絡ください。
- * Facebookはごみかんとしての活動報告はないものの、他団体の活動紹介やごみ問題のトピックス発信のために、今後も継続する予定です。

*いののつぶやき

最終号ということで、会員さんからのひと言をいただきました。紙面の関係でお声かけできなかった方には心よりお詫び申し上げます。
ごみかんが事務所を借りていた2016年度までは、名簿の管理は別の方がやっていたんですが、事務所を我が家に移ってきたからは、私が名簿と会費の管理もやるようになりました。そうしたら、それまでちゃんと見ていなかった会員さんの顔が見えてきました。払込取扱票に書かれたひと言に和んだり、会費の納入がないと「秋のごみ大学には参加してくれたのだから、何かあったのでは？」など心配したり、そんな顔が見える会員さんからいただいた3000字のメッセージに、活動してきてよかったという思いを強くしました。

それにしても、私たちのごみ減量を目指す活動は、なんといっても日本が平和だったからやれたことです。理穂さんが書いてくれたドイツの徴兵制の話にはハッとさせられました。ドイツは今も志願制だけれど、万が一の時には徴兵制をすぐ敷けるように人材データベースを作り始めたということですよ。日本が憲法9条をないがしろにした時には、いきなり韓国やイスラエルのような徴兵制はとれないにしても、ドイツのように個人情報把握した上で、そこそよい給料が貰える職場として軍隊をつくるのではないのでしょうか。若者が安定した職場として軍隊を選ばないように、義務教育で主権者教育をすること、近現代史をきちんと教えること、そして経済格差をなくしていくこと。それが遠回りに見えても平和への近道ではないでしょうか。でもどうやって...それを考え、できることはやっていきたいと思っています。もちろんごみ減量の活動も、地元でこつこつと!



最後の運営委員会に取材入ってくださった日本経済新聞・高橋耕平記者の記事が、3月25日に掲載されました。

水源地にこれ以上処分場をつくらないための多摩地域の市民と行政のがんばりを、23区へ広げるべきと示唆した記事で、ごみかん解散のタイミングで何ともうれしいはなむけとなりました。

若い高橋記者の今後へ、私たちからもエールを送りたいと思います。(いの)

ごみ・環境ビジョン21

